

# KOBE AWAY PRESS (仮)

We aim to provide a pleasure of watching away game, dreaming the spectacle of away crowd covered in crimson red.

Free!!

#63

頂点から、アジアへ号

2020.01.01 Kick Off

私達にはアウェイ戦のゴール裏をクリムゾンレッドで埋め尽くすという夢があります。一人でも多くのヴィッセル神戸サポーターにアウェイ観戦の楽しさを届けたい。KOBE AWAY PRESS (仮)はこうした思いから生まれた情報紙です。KOBE AWAY PRESS (仮)は関東サポーター有志により自主的に制作されています。



2020年元日。遂にこの日がやってきました。天皇杯 JFA 第99回全日本サッカー選手権大会。その決勝戦の日を迎えました。

天皇杯は、プロ・アマ問わずのオープン・トーナメント。99年の歴史を誇り、名実ともにサッカー日本一を決める大会です。決勝の地は、日本スポーツの聖地、オリンピックスタジアム、新・国立競技場。スタジアムの空は青いでしょか?スタンドは、深紅に染まっているのでしょうか?

2018年に続いて、強力な補強を行ってきた2019年シーズンのヴィッセル神戸。前半戦こそ守備が安定せず勝ち星を重ねられませんでした。夏に、FCバルセロナから現役ベルギー代表トーマス フェルマーレン選手が加入。大崎 玲央選手、ダンクレー選手との鉄壁の3バックの防衛線構築。同じく夏に横浜FMマリノスから加入した「11人目のフィールドプレイヤー」GK飯倉 大樹選手のアグレッシブな守備も話題となりました。守備が安定し、後顧の憂いが無くなったとあれば、攻撃陣が躍動します。

セルジオ サンペール選手、アンドレス・イニエスタ選手、山口 蛍選手からは、多彩なパスが繰り出され右サイドを、技巧派 西 大伍選手が、左サイドをドイツの強豪・ハンブルガーSVから加入した酒井 高徳選手が駆け上がり、右サイドには、小学生年代からアカデミー育ちの藤谷 壮選手もいます。

前線には、サッカー界屈指の強力FW陣が揃います。技巧派 古橋 亨梧選手。圧倒的パワーと高さを誇るウェリントン選手。覚醒と言っても良い活躍を見せた小川 慶治朗選手。ベテランの巧さを見せる 田中 順也選手。アマチュア選手からJ3→J2→J1と駆け上がった「奇跡の人」藤本 憲明選手。最終節磐田戦ではハットトリックを決め、病から完全復活したルーカス・ポドルスキ選手と、圧倒的な選手層を誇ります。そして引退を発表した名手タビド・ピジャ選手。ワールドカップ、クラブワールドカップ、ヨーロッパチャンピオンズリーグ、欧州選手権。全てのタイトルを手にしたと言ってもいい名選手に、あと一つ残されたタイトル。それが天皇杯です。

さらには、驚異のマルチロール 郷家 友太選手、怪我から復帰した増山 朝陽選手、イニエスタの不在を埋める男 安井 拓也選手、ブラジル修行から戻った佐々木 大樹選手ら若手選手達の活躍も楽しみです。また、出番こそ少なかったもののレバノン代表DFジョアン・オマリ選手や、職人 橋本 和選手、高さの渡部 博文選手、今季引退を発表したJ1通算400試合出場の鉄人 那須 大亮選手らベテラン選手の支えも大きな力となりました。守備範囲の広さを誇る前川 黛也選手、神戸生え抜きの吉丸 絢梓選手、ルーキー 伊藤 元太選手、ソムリエ 荻 晃太選手らGK陣も、試合でも練習でも大きな役割を担いました。

トルステン フィンク監督の元、新たな神戸スタイルを確立した、我らがヴィッセル。ヴィッセル神戸初のタイトルに向けて舞台は整えられました。

対するは、鹿島アントラーズ。数多のタイトルを獲得し、「全てはチームの勝利のためにある」と豪語する強豪ですが、神戸との相性はよく、直近の対戦では3-1で神戸が快勝しています。

ここに集った神戸を愛する人は、仲間であり、戦友です。サポーターの想いは、選手に届きます。サポーターの熱は、選手の情熱となります。サポーターの声は、選手の後押しとなります。ありったけの想いが、熱が、声が、我らがイレブンの力となります。ありったけの想いを、熱を、声を、ここに集結させましょう。ありったけの想いで、熱で、声で、我らが神戸代表とともに戦いましょう。

元日の国立の空に天皇杯を掲げるのは、我らがヴィッセル神戸です。熱き友の想い 胸に宿して 行こう 勝利へ WE ARE KOBE!

## 神戸讃歌

俺達のこの街に お前が生まれたあの日  
どんなことがあっても 忘れはしない

共に傷つき 共に立ち上がり 美しき港町 俺達は守りたい  
これからもずっと 歩んでゆこう 命ある限り 神戸を愛したい  
オオオオオ オオオオオオ……



## KOBE AWAY MARCH

どこまでも行こうぜ 勝利を信じて  
熱き友の想い 胸に宿して  
行こう 勝利へ  
トモニ戦え ラーララ ララララ!  
歌声響かせる(KOBE!) 遠く神戸まで(KOBE!)  
さあみんなで帰ろう 神戸に帰ろう  
勝利この手に!

## 99回天皇杯日程

節		日時	会場	勝敗・得点	節	対戦相手	日時	会場	勝敗・得点
天皇杯	ギラヴァンツ北九州	7月 3日 (水) 19:00	H ノエスタ	○ 4-0	天皇杯 第2次予選	大分トリニータ	10月 23日 (水) 19:00	H ノエスタ	○ 4-1
天皇杯	大宮アルディージャ	8月 14日 (水) 19:00	A NACK5	○ 4-0	天皇杯 第2次予選	清水エスパルス	12月 21日 (土) 14:05	H ノエスタ	○ 3-1
天皇杯	川崎フロンターレ	9月 18日 (水) 19:00	H 神戸ユ	○ 3-2	天皇杯 決勝	鹿島アントラーズ	1月 1日 (水) 14:35	H 国立	○



## 天皇杯 決勝までのあゆみ

過去何度も阻まれてきた壁を乗り越えてようやく辿り着いた決勝の舞台。高鳴る気持ちをより高めるためにも、決勝までのあゆみを今一度振り返ってみましょう。

J1勢は今年も2回戦からの登場。その2回戦の対戦相手はJ3北九州。今年のJ3リーグを制した難敵との対戦でしたがサンペール選手の来日初ゴールなどで4-0の快勝。危なげなく勝ち上がります。

3回戦はJ2大宮とアウェイで対戦。実はNACK5スタジアムとは相性抜群でこの試合も田中選手のFKでリードを奪うと後半には藤本選手が移籍後初ゴールを決め、終わってみればまたまた4-0の快勝。4回戦へ駒を進めます。

4回戦からはJ1勢との対戦。抽選で引き当てたのはリーグ戦2連覇中の川崎。苦戦が予想されましたが前半のうちに山口選手、古橋選手が立て続けにゴール。この活躍が後の日本代表選出に繋がります。後半にも小川選手が追加点を決めますがここから川崎の怒涛の反撃。あれよあれよと言う間に2失点。その後も攻め続けられませんがなんとか耐えて3-2で勝利。第一の山場を乗り越えます。

準々決勝は大分と対戦。ボールを保持し攻め続けるものの前半は無得点。スコアが動いたのは後半11分。山口選手が技ありミドルを決め神戸が先制。その後は守勢に回る時間もあるが危なげなく守り切り1-0勝利。遂に準決勝進出です。

そして迎えた準決勝は2000年に決勝進出を阻まれた清水と対戦。今年のリーグ戦では1分1敗と勝てなかった相手です。ドウグラスの圧倒的な存在感をいかに抑えるかが肝となりましたが前半から神戸が主導権を握り前半の早い段階でイニエスタ選手、田中選手の連続ゴールで2-0とリードを奪うも1点を返された2-1で前半を折り返します。後半は一進一退の攻防を繰り広げるなか、古橋選手が決勝進出を手繰り寄せる追加点。その後はなんとか清水の攻撃を守りきり、そして歓喜の瞬間が。神戸の歴史に新たな1ページを刻むホイッスル。決勝進出。

ここから先はもう誰も分からない。そして国立競技場の柿落とし。日本スポーツ界の新たな歴史を我々の目でしっかり刻み込みましょう。

## 小川慶治朗ついに国立に立つ！

ヴィッセル神戸がタイトルを懸けた試合を戦うのは今日が初めて。これまで最も近づいたのは2000年(清水)と2017年(C大阪)の天皇杯準決勝。どちらの試合も終盤まで決勝進出の可能性があったが惜敗。特に2年前は終了間際に1点先制し、「やったね、これで決勝!」と誰もが思ったところ、ラストプレーで追いつかれ、延長戦で敗退した。セレッソが優勝しただけに本当に惜しい試合を落とすと元日に悔しさがぶり返した。

トップチームはこれまで無冠、決勝を戦ったことすらないが、U18、U15はタイトルを獲得したことが度々ある。中でも印象深いのはちょうど10年前、2009年の高円宮杯U15ではここ国立競技場で決勝を戦い、栄冠を獲得した。主将の岩波拓をはじめ選手たちがメインスタンドで表彰されたことをよく覚えている。



実はこの試合、神戸側のスタンドには後輩を応援する小川慶治朗がいた。LOVE KOBEのフェイスプリントシールを顔に貼って。そのシールを友人に「恥ずかしいやろ〜」とからかわれたときの慶治朗の答えは今も忘れない。

「ええねん、俺めっちゃ神戸LOVEやねん」

その一言は強い意思、信念のもとに発せられたのは10年経ってあらためて感じる。

小川慶治朗は国立の決勝戦のピッチに立つ、10年の時を超えて、立つ。

### Facebook

<http://www.facebook.com/kobeap>

Blog <http://kobeap.net/>

Twitter @kobeap



KOBE AWAY PRSS(仮)編集部では、試合展望やコラムを書いて頂ける方を大募集中です。少しでもご興味持っていただけましたら、配布している編集部員に直接お声がけいただくか、Facebook/Twitterにてご連絡ください。よろしくお祈りします。

<b>1</b> GK 前川 黛也	<b>18</b> GK 飯倉 大樹	<b>28</b> GK 吉丸 絢梓	<b>29</b> GK 荻 晃太	<b>30</b> GK 伊藤 元太
<b>2</b> DF 那須 大亮	<b>3</b> DF 渡部 博文	<b>4</b> DF トーマス フェルマーノ	<b>22</b> DF 西 大伍	<b>24</b> DF 酒井 高德
<b>25</b> DF 大崎 玲央	<b>32</b> DF 橋本 和	<b>33</b> DF ダンクレー	<b>34</b> DF 藤谷 壮	<b>44</b> DF ジョアン オマリ
<b>5</b> MF 山口 蛍	<b>6</b> MF セルジサンペール	<b>8</b> MF アブドゥイニエスタ	<b>20</b> MF 増山 朝陽	<b>27</b> MF 郷家 友太
<b>35</b> MF 安井 拓也	<b>38</b> MF 佐々木 大樹	<b>7</b> FW ダビドビジャ	<b>9</b> FW 藤本 憲明	<b>10</b> FW ルーカスポドルスキ
<b>13</b> FW 小川 慶治朗	<b>16</b> FW 古橋 亨梧	<b>17</b> FW ウェリントン	<b>21</b> FW 田中 順也	▽ トップチーム

### ▽ KOBE AWAY PRESS (仮) からのご協力をお願い

KOBE AWAY PRESS(仮)を他のお友達にすすめたいという方や自分のお店において配ってもいいよという方は大歓迎です。一人でも多くのサポーターを誘ってアウェイゴール裏に駆けつけましょう!

KOBE AWAY PRESS(仮)のPDF版ダウンロード、およびKOBE AWAY PRESS(仮)に関するお問い合わせは、以下のURLにアクセスしてください。



### KOBE AWAY PRESS (仮) PDF版ダウンロード

<http://kobeap.net/> 発行: KOBE AWAY PRESS(仮)編集部

Facebook <http://www.facebook.com/kobeap>

Twitter @kobeap (<https://twitter.com/kobeap>)



### 編集後記

幸せな時間でした。イニエスタの左足から放たれたボールがゴール右隅に吸い込まれた瞬間、酒井からのパスが田中順也にドンピシャで渡った瞬間。そして古橋の一撃が勝敗を決定づけた瞬間。すべてが鮮烈で幸せな時間でした。クラブ史上初の決勝進出。けれど私たちは、まだ何も成し遂げてはいません。獲得したのは挑戦権です。栄光はこの一戦を戦い抜いた先にあります。悲願のタイトルへ。さあ、最終決戦です。



このKOBE AWAY PRESS(仮)を受け取ったら、その場で捨てないでお家まで持ち帰ってね!

Keep clean